

2002年4月23日第三種郵便物認可（毎月3回5の日発行）  
2006年5月12日発行 SSKW 増刊通巻703号

# SSKW

# 海から海へ

No. 10 2006. 5. 12【編集人】

特定非営利活動法人 海から海へ

〒182-0024 東京都調布市布田1-43-3

オリエンタマンション108 うつわ和季内

TEL & FAX 042-441-2958

<http://umi.or.jp> [office@umi.or.jp](mailto:office@umi.or.jp)



雨の日のママ Mama in a Rainy Day 727x606(mm) © Mizuki Tanaka 1988

海から海へ は、瑞木さんの60余点の絵がいつでも誰でも見られるように  
みずき美術館を設立する準備をしています。ご協力をお願いします。

平成17年度社団法人生命保険協会子育て家庭支援活動助成事業

## 子育て家庭支援シンポジウム

2006年3月26日(日)午後2時~5時30分  
電気通信大学創立80周年記念会館3階フォーラム

第一部 パネルトーク (前半)  
青木道代 白井隆之 飯田緑  
第二部 パネルトーク (後半)  
阿部愛子  
第三部 討論  
指定討論 全体討論  
総合司会 阿部公輝

企画主催 特定非営利活動法人海から海へ  
助成 社団法人生命保険協会  
後援 調布市 国立大学法人電気通信大学  
協賛 株式会社キャンパスクリエイト

- 途中からでしたが、障害者、障害児に対してもっともっと色々な事を知りたいなあと思ったし、対処や考え方を知りたいと思いました。参加されたみなさんは真剣に聞いていたので、気が引きしまりました。
- 今日こどもの預かりをしたものです。短時間でしたがとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。
- 飯田さんのお話で、障害のある子を持つ親への告知が難しいという話がありました。親が障害を受け入れられる社会を築いていかななくてはいけないと思います。青木先生のおっしゃるスウェーデンの、親へのサポートのような孤立させない社会の日本版を作らなくては！自己肯定感、自己評価の高い世の中を作るにはマザーテレサに言われてしまった愛が不足している日本なのだと思います。愛のある社会を身近からつなぐのですね。ありがとうございました。
- たくさんの方が学べました。障がい児のガイドヘルパーをしています。子どもたちの笑顔が見れるよう、がんばれるようなお話でした。どうもありがとうございました。
- 子どものかんしゃくが強く、さまざまな薬を使っています。アメリカのような医者を含めてビヘイビアトレーニングなどがカウンセラーと一緒にカウンセリングすると思います。今日質問いろいろしたかったのですが用事があるので、先に帰らせてもらいます。
- 具体的な話から参考になる事まで聞く事ができました。孤立化しないようにしていきたい。



青木道代氏



司会 阿部公輝 白井隆之氏



飯田緑氏



阿部愛子氏

- 立場の異なる違う視点からのお話しが伺えて良かったと思います。子育てをする「全て」のご家族を対象にまたこのような企画を立てていただけましたら幸いです。
- 真剣に取り組んでいる方々の状況が分かり、感心させられました。私自身のライフワークと考えている世界で、興味あります。
- 講演者がいろいろ体験しているので、分かりやすかったです。
- 生の声を聞かせていただき、援助する立場として初心に帰れました。
- 経験者ならではの話が伝わってきたが、話しが単調になりがちで、聞くほうでは疲れる。もう少し工夫が欲しい。聞くほうにも話をさせるように。
- 価値観は同じという訳ではないが、少し理解できる。
- 先日は貴重なお話を伺うことができ、有意義なひとときを過ごすことができました。どうもありがとうございました。託児のほうもとてもきちんとしていて、安心してお任せすることができました。子どもたちもたくさん遊んでもらって、とても楽しかった様子で「またあのお姉さんと遊びたいなあ」というほどで、一緒に行ったKさんも「良かった」と言っていました。お話し、とても興味深く最後まで聞きたかったのですが、外で下の娘が号泣しているらしき声が聞こえて、「もう限界なのかな？」と思い、退席させていただきました。お話しの途中だったのに失礼いたしました。(実際はただちょっと転んで泣いていただけですごぶるご機嫌だったそうです。)それぞれの方のお話は心に響く言葉が多々あり、お話聞けて本当に良かったです。同時に、もっとたくさんの方に聞いてもらえたらよいのにと、ちょ

っともったいないように思いました。あまり大々的に宣伝はされなかったのでしょうか?おそらく「自分とはあまり関係がないな」と関心を持たない方が多かったのかも知れませんが残念ですね。かくいう私も阿部さんのお人柄に魅かれて参加したわけで、そうでなければやはり足を運ばなかったろうと思いますが。もしまた今後このような催しがあれば声をかけていただけたらうれしいです。そのときはもっと多くの人を誘って行けたらと思っています。ありがとうございました。

「子育て家庭支援シンポジウム」の報告書(B5版58ページ)ができ上がりました。ご希望の方は180円切手を同封の上、下記宛郵便でお申込みください。

〒182-0024 東京都調布市布田 1-43-3  
オリエントマンション 601 阿部



## 平成18年度通常総会

日時 2006年5月28日(日)午後0時~1時

場所 調布市布田 1-43-3

オリエントマンション 601

- 議題(1) 従たる事務所の閉鎖  
(2) 平成17年度事業報告、会計報告  
(3) 平成18年度役員選出  
(4) 平成18年度事業計画、予算  
(5) その他

正会員の方へは総会開催のはがきをお送りしました。出欠のご返事をお願いいたします。

下記のように、3周年記念交流会を予定しています。どなたでもおいでいただけます。多くの方々にご参加いただければ幸いです。

## 3周年記念交流会

5月28日(日)午後1時~4時

調布市布田 1-43-3 オリエントマンション 601

おかげをもちまして、海から海へは3年目を迎えました。3周年に当り、今後の発展を祈念し皆様とともに楽しい時間を分かち合いたいと思います。ゲストにゆらぎさん(シンガーソングライター)をお迎えします。風薫る季節、万障お繰り合わせの上おでかけくださいますよう、よろしくお願いたします。(サンドイッチなど軽食をご用意しております。会費500円。)

参加の方は電話、Fax、またはE-mailで

5月21日までにお知らせください

Tel: 042-441-2958 Fax: 042-487-2398

E-mail: office@umi.or.jp

## ゆらぎさんと原口俊彦さん

ゆらぎさんは東京都中野区出身。現在、長野県佐久市在住。二十歳の時、キャニオンレコードよりデビュー。2000年より、「がんばる」、「ルルドの泉」などCD3枚を発売。各地で、ライブ活動中。お連れ合いの原口俊彦さんは2002年同市東立科で17,000平米の土地に本格的な馬中心の牧場『まきばカフェ』を手作りで立ち上げました。「馬にやさしいことは、人にもやさしい。馬の命に向き合いながら勝ち負けの関係を越えた馬と人とのコミュニケーションの場作りを目指して活動中。



「馬にやさしいことは、人にもやさしい。馬の命に向き合いながら勝ち負けの関係を越えた馬と人とのコミュニケーションの場作りを目指して活動中。

### 出前ミュージアム

## みーちゃんの展覧会 in KOBE

2006年8月29日(火)から9月3日(日)まで  
神戸の2箇所で同時開催いたします。

のびやかスペースあーち  
(神戸市灘区神ノ木通3-6-18)  
神戸市立王子市民ギャラリー  
(神戸市灘区王子町3-1-2)



詳細は次号でお伝えします。  
多くの方々との出会いを楽しみにしております。

### 講演会 露の団六さんをお迎えして

「ダウン症の兄ノリオ、そして私」(仮題)



2006年後半期を予定しております。  
詳細は次号でお知らせします。

## 高速印刷機の寄贈

特定非営利活動法人イーパーツ様 <http://www.eparts-jp.org/>  
からカラーレーザープリンタ(RICOH IPSiO CX9000)が寄贈されました。ありがとうございました。



おしろ A Castle 455x530(mm) © Mizuki Tanaka 1987

### ひとこと

本会報は、経費節減のため低料第三種郵便の認可を受けて郵送しております。その制限上残念ながら私信を同封できません。よろしくお願いたします。

### 編集後記

おいしい杏仁豆腐をいただいた。娘が作ったものだ。娘はパンも作る。とってもおいしい。このとき「とってもおいしい」とことばにすると、何かが理解できた、ということにはなる。しかし娘は事実だけを述べる。起きたこととこれから起きること、それにどう自分がかかわるか、そのことにこだわる。

事実の羅列の力強さは圧倒的だ。それは彼女の日常と彼女の描く絵を見ると分かる。何につけ、どう?と娘に聞くことが何か彼女の世界を広げるのではないかと思っていたが、逆に、私はこんなことに気づかされた。娘は常に先生である。(輝)

特定非営利活動法人 海から海へ

<http://umi.or.jp> office@umi.or.jp

2006年5月12日 海から海へ No.10

編集責任者 阿部公輝

〒182-0024 東京都調布市布田1-43-3

オリエンテーション108 うつわ和季内

Tel & Fax 042-441-2958

発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価 200円

無断転載禁止